

●この説明書は必ず施工される方にお渡しください。なお施工後は施主様にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の障害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- キャビネットが転倒してけがをするおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
 - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の栈木を設置してください。
 - ・栈木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
 - ・栈木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
 - ・ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)
 - ・必ず栈木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
 - ・組立ての際は、接合部に付属の接着剤を充てんしてください。
 - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×65を指定の本数使用してください。
 - ・躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタツキのないことを確認してください。
- 扉の吊込みの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番ベースプレートに「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因になります。
- リフォーム等の場合で栈木位置が石こうボードなどで確認できない場合は、石こうボードをはがして栈木位置を確認してください。栈木がない場合は、柱・間柱に釘などで栈木を取付けてください。
- アルミ扉の場合、丁番固定ねじの締め忘れや緩みなどは扉脱落防止の原因になります。丁番の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。

■施工上のお願い

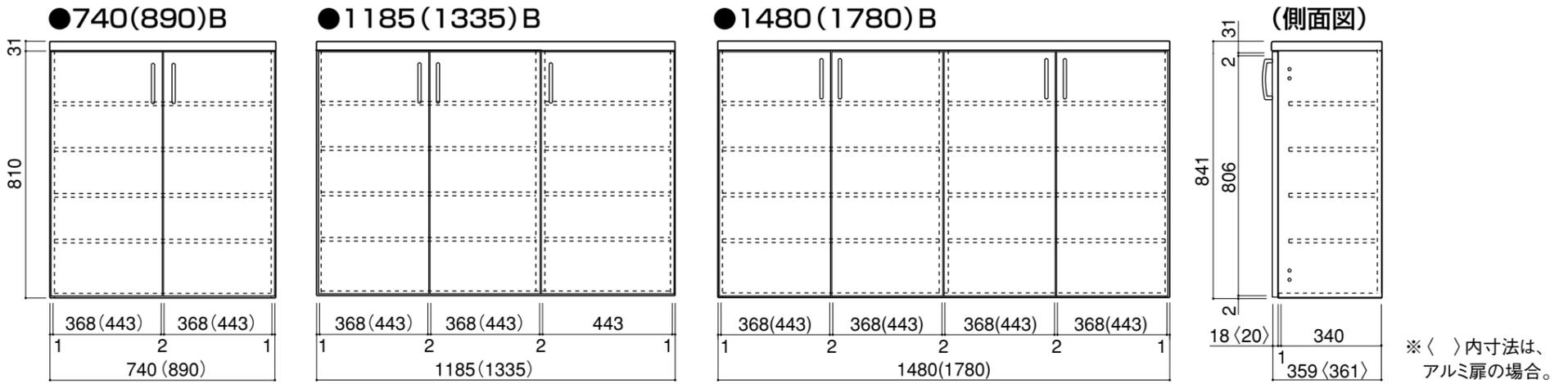
- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが傷損するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付のドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けしないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

■部材部品一覧表

		部材名	数量					
			740B(890B)	1185B(1335B)	1480B(1780B)			
部 材		①側板	2	2	2			
		②中仕切	1	1	1			
		③カウンター	1	1	1			
		④地 板	1	1	1			
		⑤背 板	1	1	2			
		⑥棚板/W413	—	4 (4)	—			
		棚板/W708	4	4	8			
		棚板/W858	(4)	(4)	(8)			
		部 品	キャビネット 梱包	棚ダボ		16	32	32
				キャビネット連結 中仕切固定ねじ φ3.5×27 (黒)		10	13	13
躯体取付けねじ φ3.8×65				3	5	5		
接着剤				1	1	1		
アーチ型把手セット (把手/トラス小ねじ M4×25)				2	3	4		
丁番座				4	6	8		
丁番カップ				4	6	8		
戸当たり 取付けねじφ3.5×16 (ゴールド/ブロンズ)				1	1	2		
穴かくしキャップ				—	4	—		
部 材	扉梱包 (2枚入り)			扉/左吊り元	2枚入り/1梱包	1	1	2
		扉/右吊り元	1	1		2		
部 品	扉梱包 (1枚入り)	丁番セット (丁番/皿小ねじ M3.5×12)		4	4	8		
部 材		扉/左右兼用	1枚入り/1梱包	—	1	—		
部 品		丁番セット (丁番/皿小ねじ M3.5×12)		—	2	—		

※扉梱包の部品セットは、アルミ扉のみ同梱しています。

■寸法図

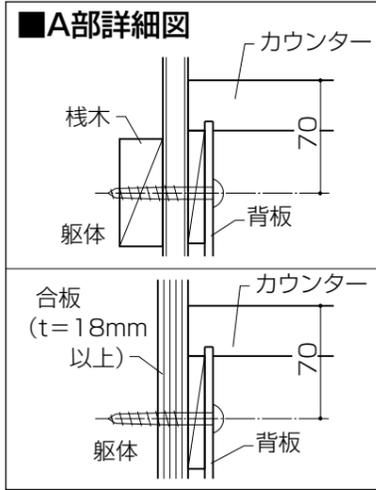
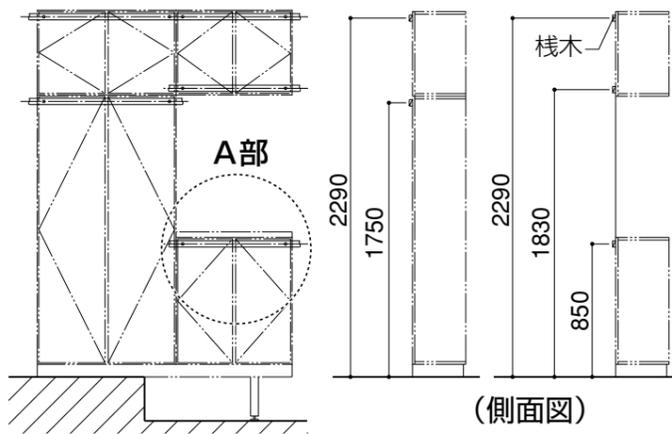


■扉の開閉方向

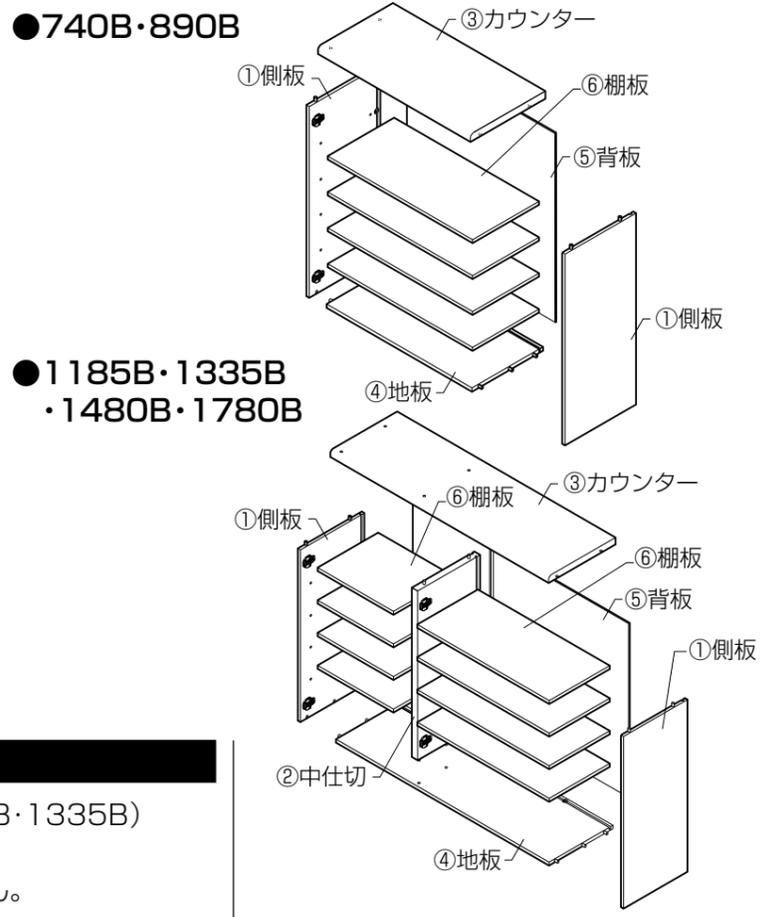
- 左右勝手は、組立て時の中仕切りの取付け位置(丁番座の取付け位置)により選択できます。(1185B・1335B)
- 扉の吊元は、施工時に変えられます。(ただし、アルミ扉の吊元は変えられません。)
- 扉は両開き用扉(左右吊元/各1枚)と、左右兼用扉(把手穴のあいていない扉/1枚)があります。左右兼用扉の把手穴は貫通していませんが、裏面から上下2カ所に道穴が加工してあります。左右勝手を確認の上、把手穴を貫通して組立てます。詳細は、4扉の取付け方をご覧ください。(アルミ扉の把手取付け穴は加工済みです。)

■据付け前の準備

- 据付け場所と上がり框の位置及び、収納セットの左右勝手を確認し、所定の壁面(躯体)に栈木を設置します。(A部詳細図参照)
- ※栈木は厚さ24mm×60mm以上の硬木を使用してください。
- ※合板は必ず、厚さ18mm以上の物をご使用ください。



■各部名称

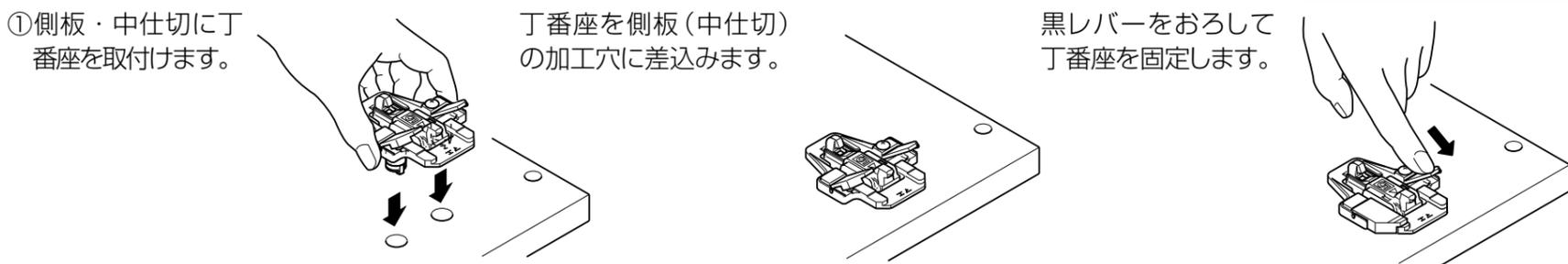


▲注意

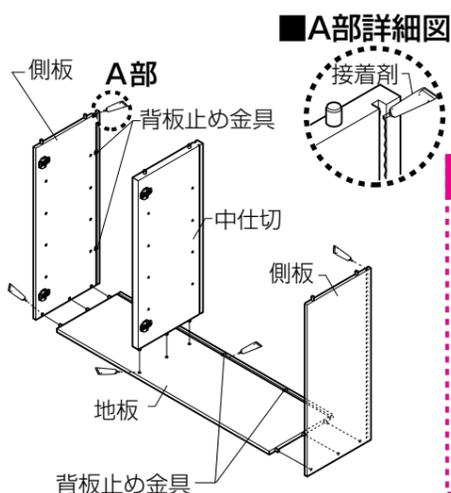
- 必ず栈木を設置してください。転倒のおそれがあります。

■組立て順序

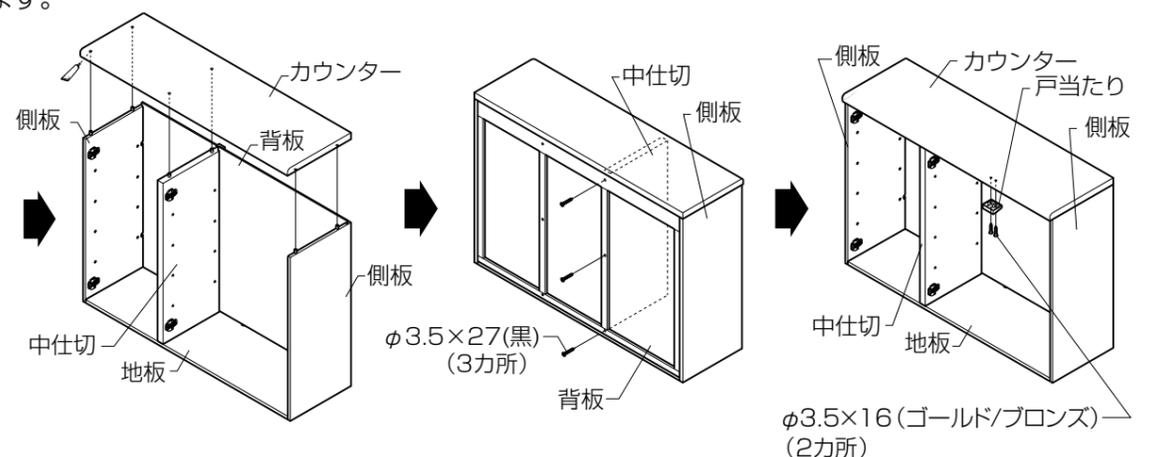
- ※左右勝手は、組立て時の中仕切りの取付け位置(丁番座の取付け位置)により選択できます。(1185B・1335B)
- ※部材はキャビネット内側がグレー、外側が木目です。
- ※本組立てでは1185B・1335B・1480B・1780Bを示し、740B・890Bには中仕切は付きません。



- ②観音開き側に丁番を向け、中仕切及び、両側板を地板にはめ込みます。
- ③背板を差込み、地板の背板止め金具を締めます。
- ④カウンターをはめ込みます。
- ⑤キャビネットの垂直を確認した後、両側板の背板止め金具を絞めます。
- ⑥背板側から中仕切をねじ止めします。(1480B・1780Bを除く)
- ⑦戸当たりをねじ止めします。 ※740Bと890Bはカウンターの中央に取付けます。

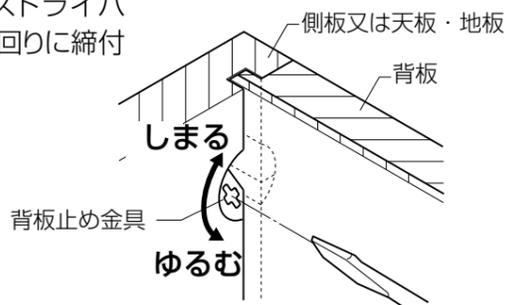


- ▲注意
- 接合部には必ず接着剤を充ててください。キャビネットの強度が不足、転倒の原因となります。



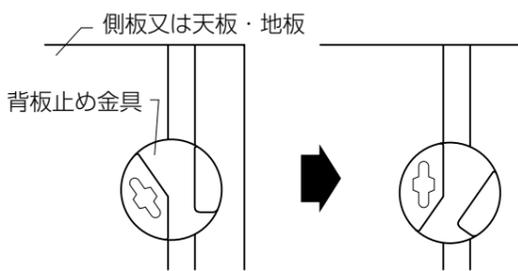
■背板止め金具の締め方

※マイナスドライバーで、右回りに締付けます。



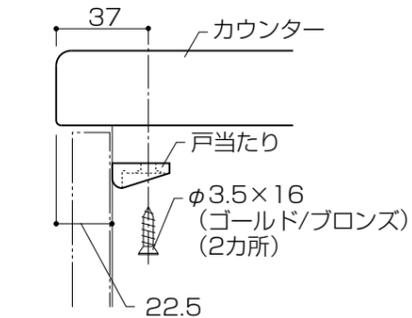
【組立て前】

※この状態で背板を組込んでください。



【組立て時】

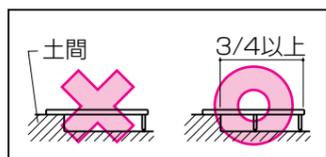
■戸当たり取付け位置



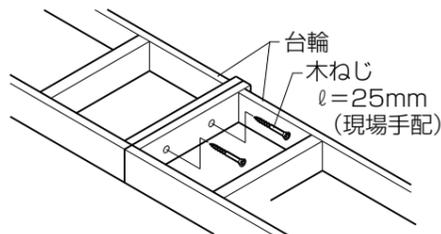
■取付け手順

1 台輪の設置

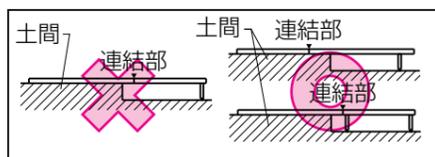
- 据付け場所に台輪を置きます。
- ※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10mm以上浮かせてください。
- ※1335以上の台輪を使用し、土間に2/3以上かかる場合は、追加脚セット(2本入り)(別売品)を使用し、足を4本設置してください。



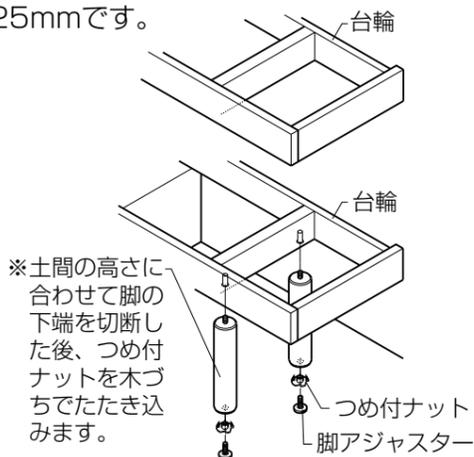
- ※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじ(ℓ=25mm)で連結してください。



- ※連結部は、土間にかからないようにしてください。やむを得ない場合は、脚を4本使用し、市販のボルト・ナットでガタツキがないよう、台輪を連結してください。



- ※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。
- ※アジャスターの調整範囲は10mm~25mmです。

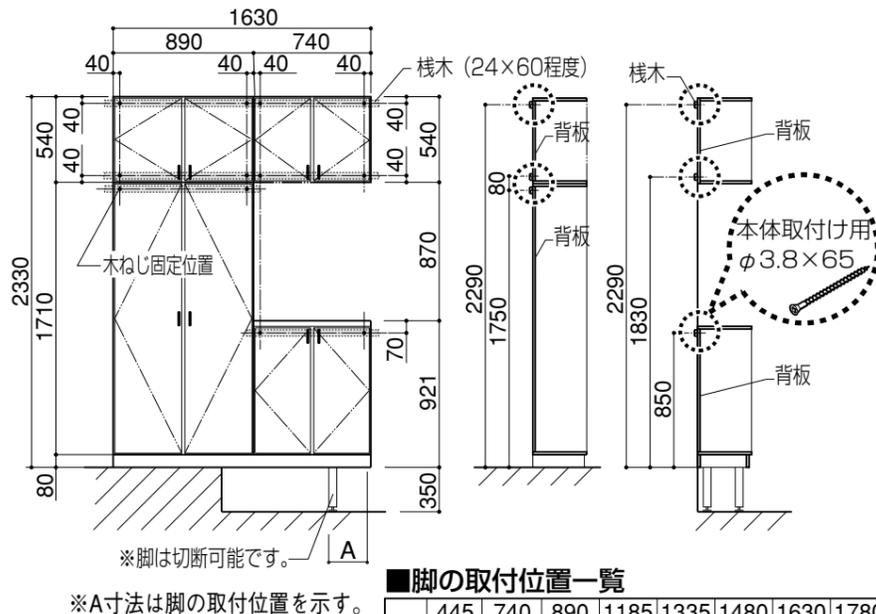


2 壁面への固定

- ※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら本体取付用ねじφ3.8×65で壁面(桟木)に固定してください。

▲注意

- 取付けねじは、必ず壁面の桟木又は18mmの合板に固定してください。転倒のおそれがあります。



■脚の取付位置一覧

	445	740	890	1185	1335	1480	1630	1780
A	45	45	45	240	45	45	45	240

3 台輪への固定

【キャビネット+キャビネット左右連結】

- キャビネットの側板全面を面一に合わせ、付属の木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。

■C部詳細図

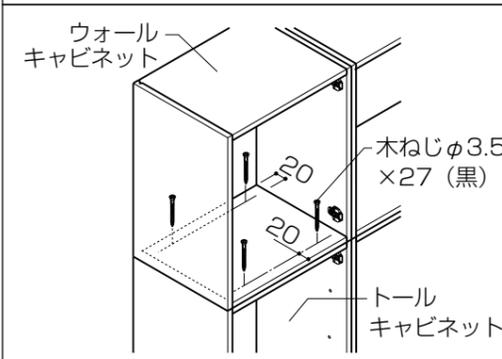
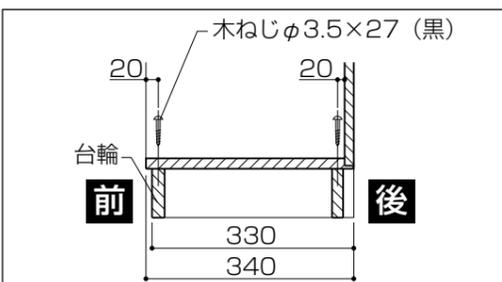
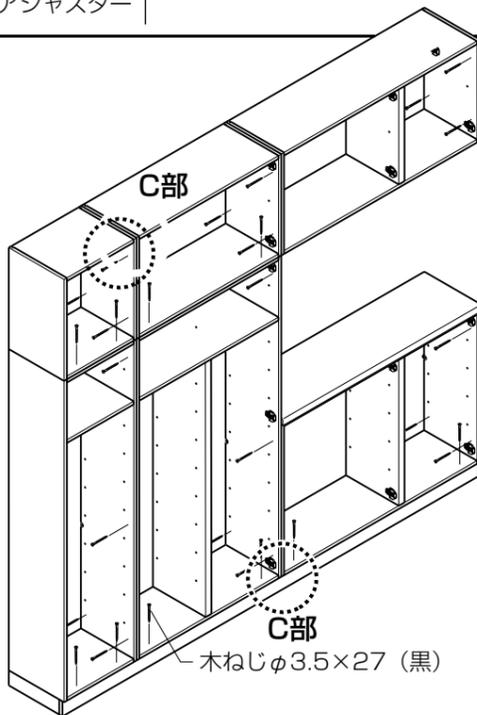


【台輪+各キャビネット連結】

- キャビネットの内側から台輪に木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。
- ※この場合、背面を合わせ、左右のチリを均等にしてください。

【ウォールキャビネット+トールキャビネット連結】

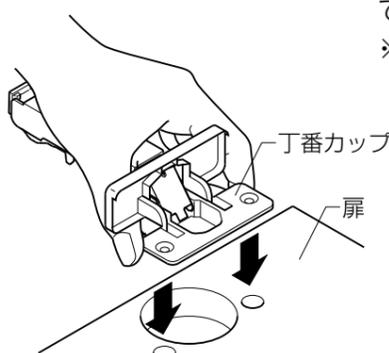
- ウォールキャビネットの地板からトールキャビネットの天板へ(上から下へ)ねじφ3.5×27(黒)で連結します。



4 扉の取付け

【木扉の場合】

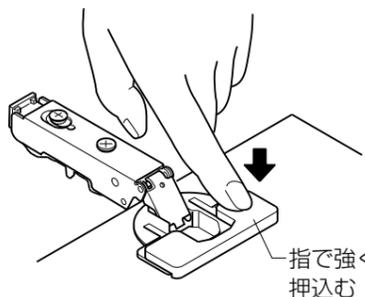
① 丁番カップの取付け



丁番カップのカバーを90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。

※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。

扉と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまでカバーを強く押込んでください。

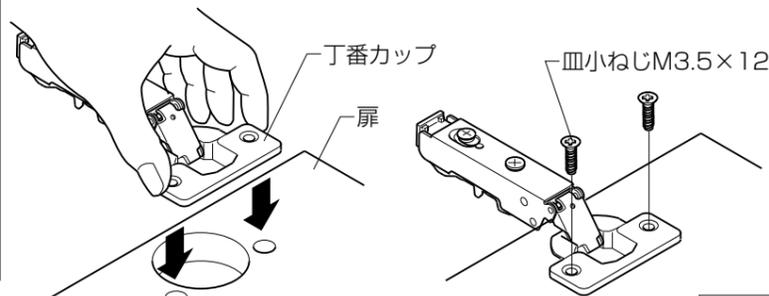


【アルミ扉の場合】

- 丁番カップを扉に差込み、皿小ねじM3.5×12で取付けます。

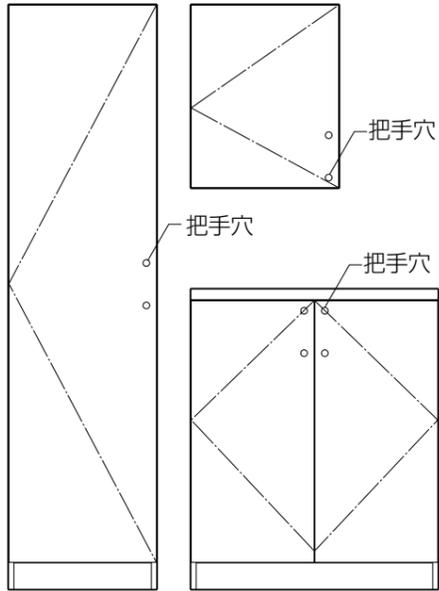
▲注意

- 丁番固定ねじの締め忘れや緩みなどは扉脱落防止の原因になります。丁番の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。



②扉の左右勝手の確認

- ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手穴が上になります。
- トールキャビネットは扉のセンターに把手穴があります。



③把手取付け穴加工

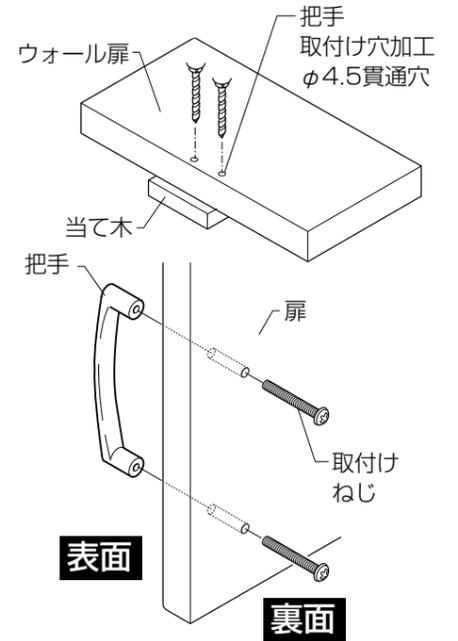
- ※445ウォール扉は現場での把手取付け穴加工が必要です。(アルミ扉の場合は、把手取付け穴加工は不要です。)
- ※把手取付け穴加工を開ける時は、必ず当て木を使用してください。

●お願い
※当て木をしないで穴を開けると、シートがめくれる原因となります。

④把手の取付け

- ※把手セットはキャビネットに同梱されています。

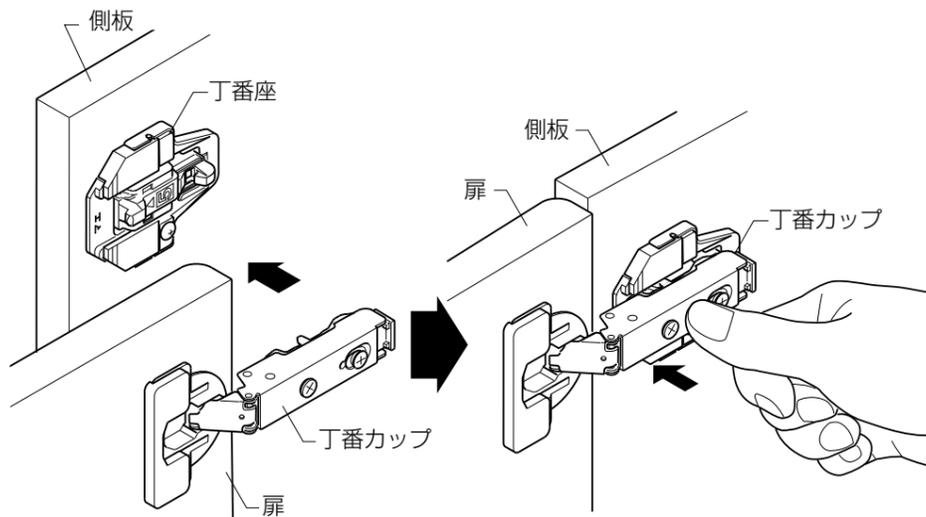
注意
●アルミ扉の場合、把手取付けねじは手まわしドライバーで固定してください。強いトルクで締付けると、扉のへこみの原因となります。



⑤-1.扉の取付け方

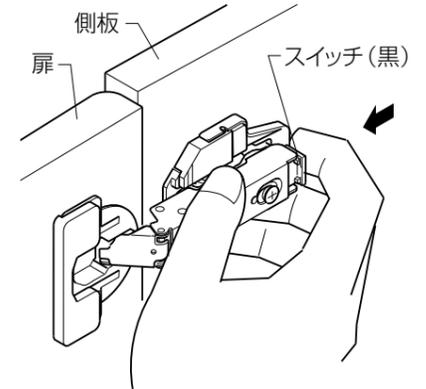
注意
●扉を本体に取付ける際は、丁番カップが「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

- ※扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番カップがきちっと取付いているか必ず確認してください。



⑤-2.扉の外し方

- 扉を外す際は、丁番カップの黒いスイッチを押してください。



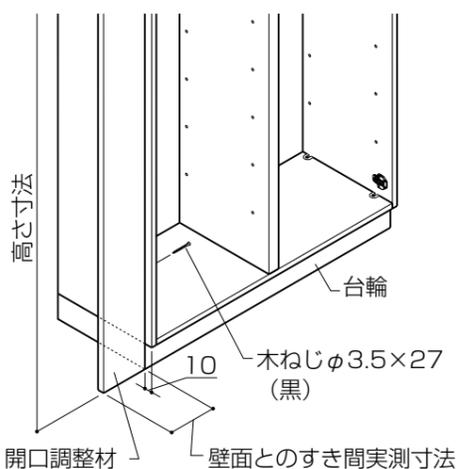
■扉の調整

前後調整	左右調整	上下調整
調整範囲(3mm:前方2mm・後方1mm)	調整範囲(±2mm)	調整範囲(±1.5mm)
<p>前後調整ねじをゆるめる</p> <p>※調整後、調整ねじを必ず締め直してください。</p>	<p>左右調整ねじをゆるめる</p> <p>※調整範囲を超えてねじ込まないでください。</p>	<p>丁番座の上下調整ねじをゆるめる</p> <p>※調整後、調整ねじを必ず締め直してください。</p>

■オプション部品の取付け

■開口調整材

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工します。
- ②台輪と面一に合せて取付けます。

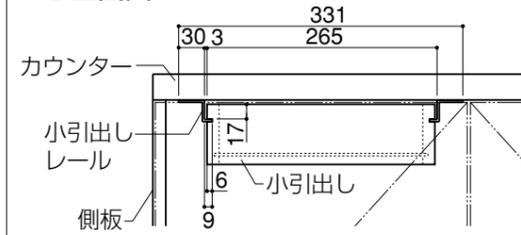


■小引出し

- ①カウンター裏面のお好きな位置に付属のねじで取付けます。
- ②レールの後部が背板に付くように取付けてください。

■小引出し取付け詳細

●正面図



●側面図

